



2020年3月7日
大会事務局

2019-2020 FIM 世界耐久選手権最終戦 “コカ・コーラ”鈴鹿 8 時間耐久ロードレース 第 43 回大会 規則変更点の解説(一部抜粋)

■ヘルメット公認(FRHPhe-01 規格)について

2020年1月1日より、世界耐久選手権(EWC)においてもFIMが公認したヘルメットを装着しなければならない。
公認ヘルメットのリストは下記のURLから確認できる。

<http://www.frhp.org/>

なお、**FRHPhe-01 規格のヘルメットはあごひも部分に二次元バーコードが縫い付けられており、(図 1)**

この情報を基に検査を行う。

FIM のロゴが入った MFJ 公認マーク(図 2)のついたヘルメットはこの FRHPhe-01 規格ではないため鈴鹿 8 耐 第 43 回大会では使用不可。



(図 1) FRHPhe-01 規格のヘルメットはあごひも部分に二次元バーコードが縫い付けられている。



(図 2) MFJ 公認マークにある FIM マークは FRHPhe-01 規格ではないので注意すること。



■ 指定燃料について

今大会は、ユーロスポーツ・イベントが指定する単独燃料サプライヤー“Panta Racing Fuel”が供給する燃料のみが使用できる。また、各チームがピットボックス内に保管できる燃料容量は 60L 以下に制限される。

当該週および事前テストなどにおける供給方法については別途大会事務局よりインフォメーションを発行する。

■ 公式予選通過基準タイムについて

各ライダーには予選通過基準タイムが設定される。ライダーは自身が走行する予選グループにおいてトップタイムの 108%よりも速いタイムを計測する必要がある。また、2020-2021 年シーズンにおいては 107%に引き上げられる予定である。

■ 予選使用タイヤ本数制限

公式予選において使用するタイヤ本数の制限については、各チーム 7 枚のタイヤステッカーが配布される。

(ライダー 2 名による構成のチームは 5 枚)

以上